

# 秋田版自然公園満喫プロジェクト事業について

自然保護課

## 1 事業の目的

十和田八幡平国立公園が、環境省の「国立公園満喫プロジェクト」の実施箇所に選定され、日本を代表する国立公園として、2020年度までにかけて、外国人来訪者を増やすための公園施設等の整備が集中的に行われることとなっており、昨年末に、当該計画を取りまとめた「ステップアッププログラム2020」が策定されたところである。

このため、プロジェクトの実施を契機に、本県の国定公園や県立自然公園の魅力を併せて発信するとともに、自然公園のモデルコースを整備することにより、国内外からの来訪者の拡大を図る。

## 2 事業の概要

(単位：千円)

自然公園名	所在地	整備概要	予算額
国立・国定・ 県立自然公園	県内	自然公園の画像撮影及び情報発信媒体 活用による魅力の発信	2,000
十和田八幡平 国立公園	仙北市田沢湖	駒ヶ岳PR動画作成及び駒ヶ岳情報 センター情報発信設備の更新	9,500
田沢湖抱返り 県立自然公園	仙北市角館	抱返り溪谷歩道の改修	16,000
事務費 (自然公園利活用推進協議会等)			326
計			27,826

※一部民間に委託

## 3 年度別計画等

事業期間：平成28年度～平成30年度（3年間）

(1) 平成28年度（9月補正）

多言語表記の「あきた自然公園マップ」の作成

(2) 平成29年度 2の事業の概要のとおり

(3) 平成30年度

情報発信媒体を活用した自然公園の魅力の発信

## 4 予算額

27,826千円

① 1,600千円
② 13,113千円（地方創生推進交付金）
③ 13,113千円（地域活性化対策基金）

(参考)

## 十和田八幡平国立公園ステップアッププログラム2020（概要）

### 1. 現状分析

- (1) 公園の特徴
- (2) 公園を訪れている外国人旅行者
- (3) 公園が有する課題
  - 1) 利用拠点(施設の老朽化・廃屋等・冬期利用促進等)
  - 2) アクセスルート・公園道路(公園までの誘導・二次交通等)
  - 3) 受入態勢(多言語対応・Wi-Fi等・接遇・体験プログラム)
  - 4) 情報発信
  - 5) ターゲットに応じた外国人目線の取組
  - 6) 自然環境の保全

### 2. 目指すべき姿・取組の方針

- (1) 多彩な登山道を活かします
- (2) 冬季の楽しみを充実させます
- (3) 温泉・湯治を楽しんでいただきます
- (4) 手軽に原生的な自然・活火山現象を楽しんでいただきます
- (5) 十和田信仰を体感していただきます
- (6) アクセスルートの景観向上、案内誘導の強化を行います
- (7) ビューポイント(重点取組地域)で集中的な取組を進めます
- (8) 情報発信・プロモーションを行います
- (9) ターゲットのニーズを把握して取組みます

### 3. 目標

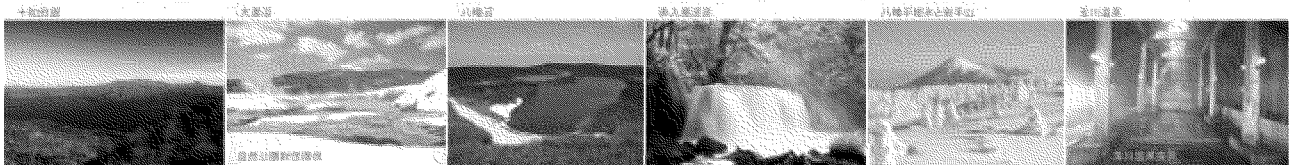
外国人利用者数 3倍  
2015年：7千人 → 2020年：2.1万人

### 4. プロジェクトの実施

- (1) アクセスルートの景観向上、案内誘導の強化
- (2) ビューポイントにおける集中的な取組
- (3) 公園全体に関する取組等
- (4) 情報発信・プロモーション
- (5) 構成員以外の主体による関連した取組

### 5. 効果検証

十和田八幡平国立公園のテーマ  
みちのくの脊梁～原生林が彩る静謐の湖水、  
息づく火山と奥山の湯治場



(環境省資料)

## ○プログラムにおける県内の主な事業

### 1 国直轄事業

- ・ 国立公園入口標識の再整備
  - ・ 八幡平ビジターセンター、後生掛キャンプ場の整備
  - ・ 見返峠車道、駐車場の整備
- 等

### 2 県事業

- ・ 後生掛温泉園路、公衆トイレの整備
  - ・ 玉川温泉園路、公衆トイレ、ビジターセンターの整備
  - ・ 田沢湖高原駒ヶ岳線歩道等の整備
  - ・ 十和田湖西・北湖畔等の歩道の整備
- 等

### 3 市町村事業

- ・ 十和田湖周辺のWi-Fi環境の向上
  - ・ 市道(鶴の湯温泉)の改修
- 等